

フルカラーコミック 25P

作者 つじもと じゅんべい



魔法警察

続編

レイナ  
恥辱

Stage 1-2

のお遣い

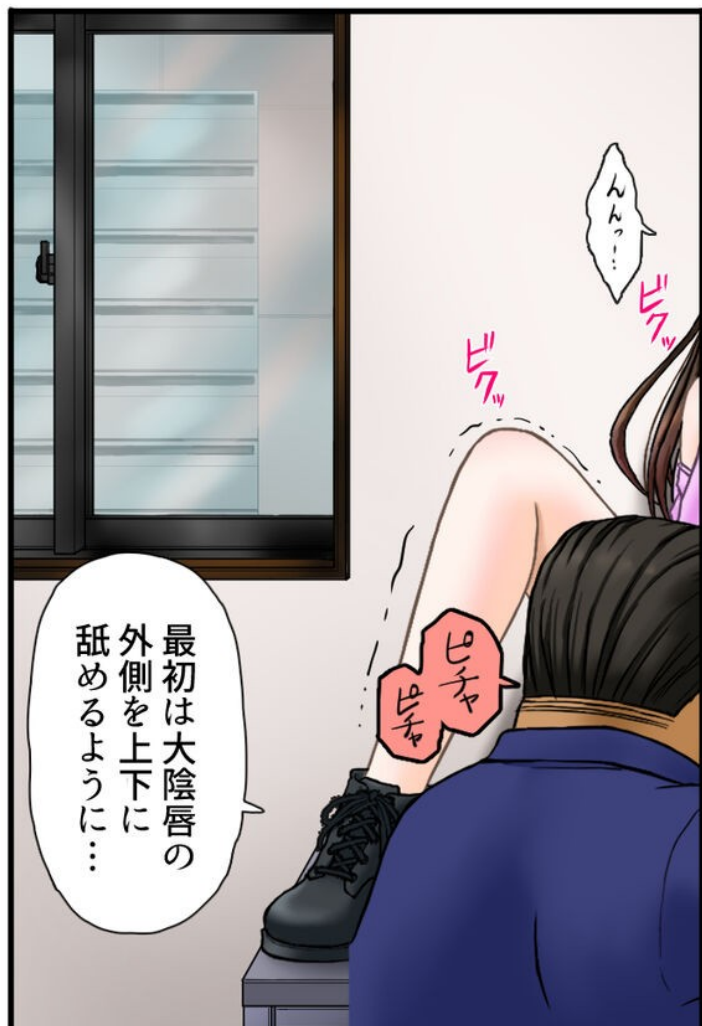
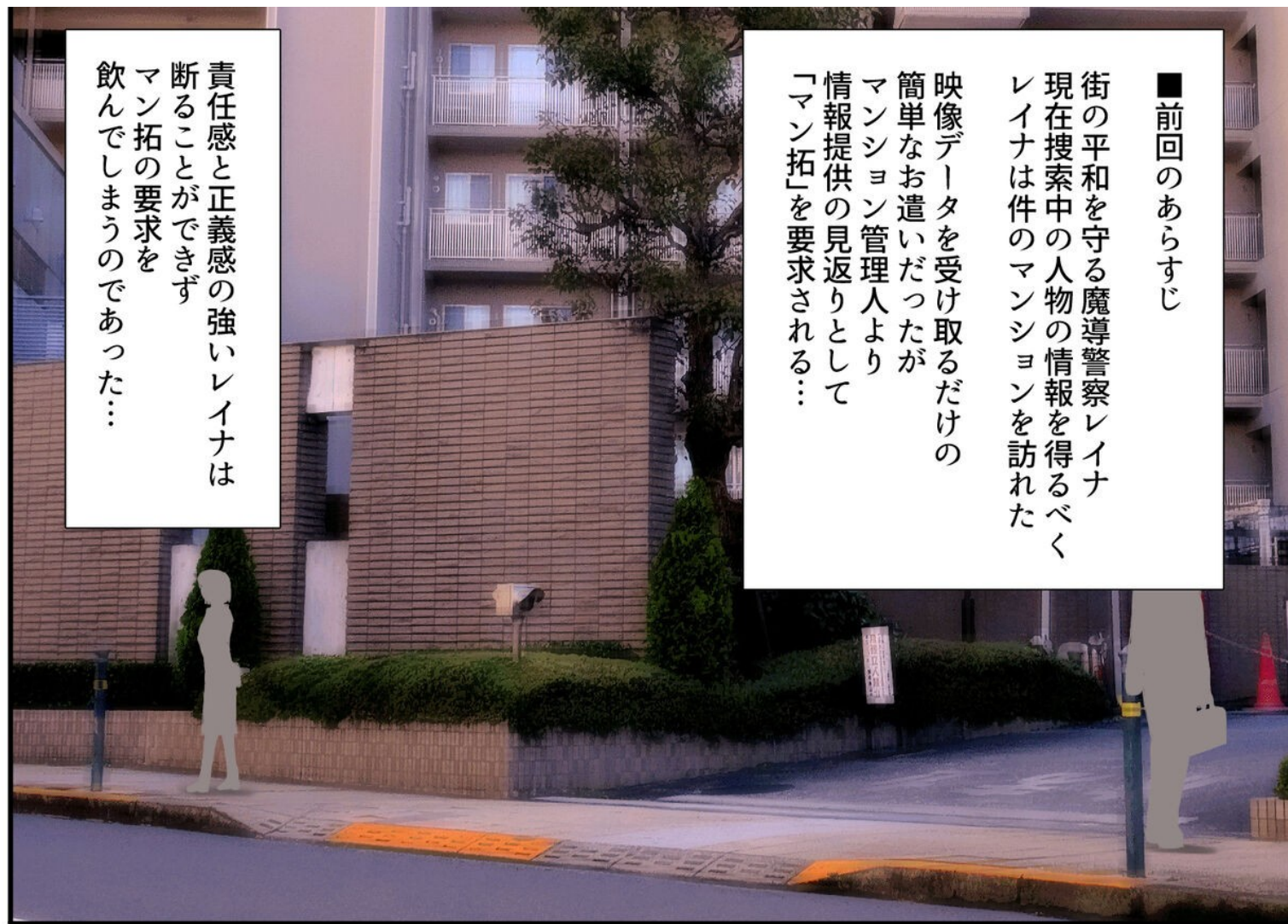
※モザイク処理は本編と異なります。

■ 前回のあらすじ

街の平和を守る魔導警察レイナ  
現在捜索中の人物の情報を得るべく  
レイナは件のマンションを訪れた

映像データを受け取るだけの  
簡単なお遣いだったが  
マンション管理人より  
情報提供の見返りとして  
「マン拓」を要求される…

責任感と正義感の強いレイナは  
断ることができず  
マン拓の要求を  
飲んでしまうのであった…



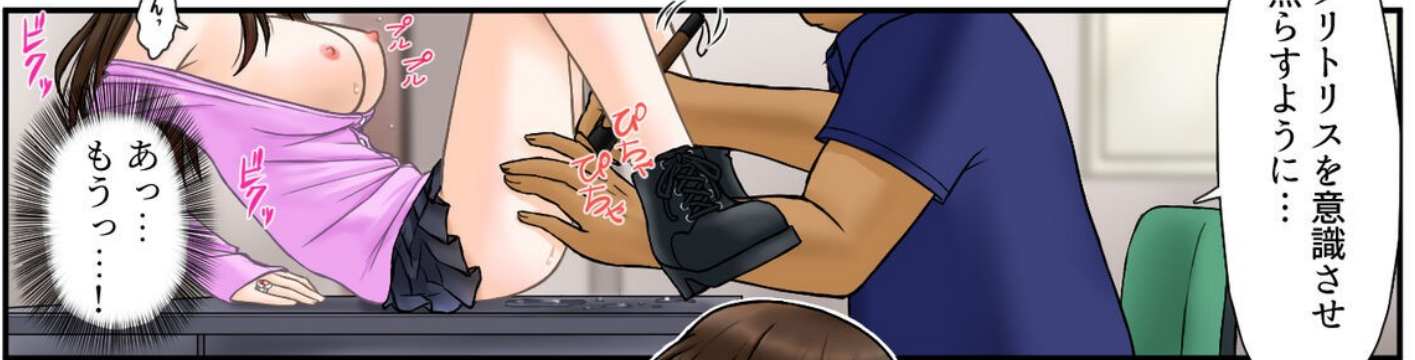


そして徐々に  
内側に  
迫っていく...

ビクッ

ビクッ

はんっ!!



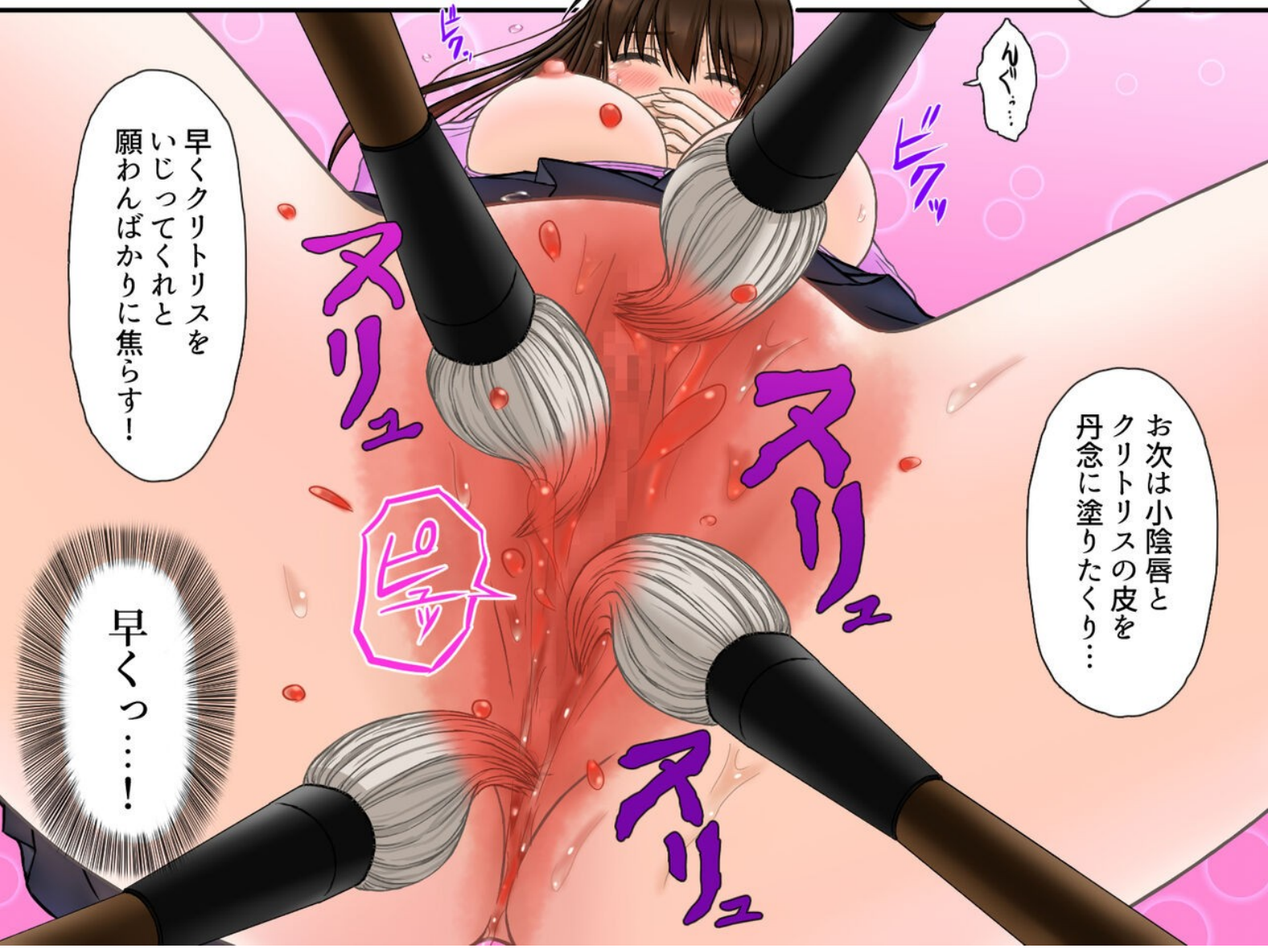
クリトリスを意識させ  
焦らすように...

あっ...  
もうっ...!

ビクッ

スス

びびり  
びびり



早くクリトリスを  
いじってくれと  
願わんばかりに焦らす!

お次は小陰唇と  
クリトリスの皮を  
丹念に塗りたくり...

早くっ...!

ヌリユ

ヌリユ

ヌリユ

ビクッ

ビクッ

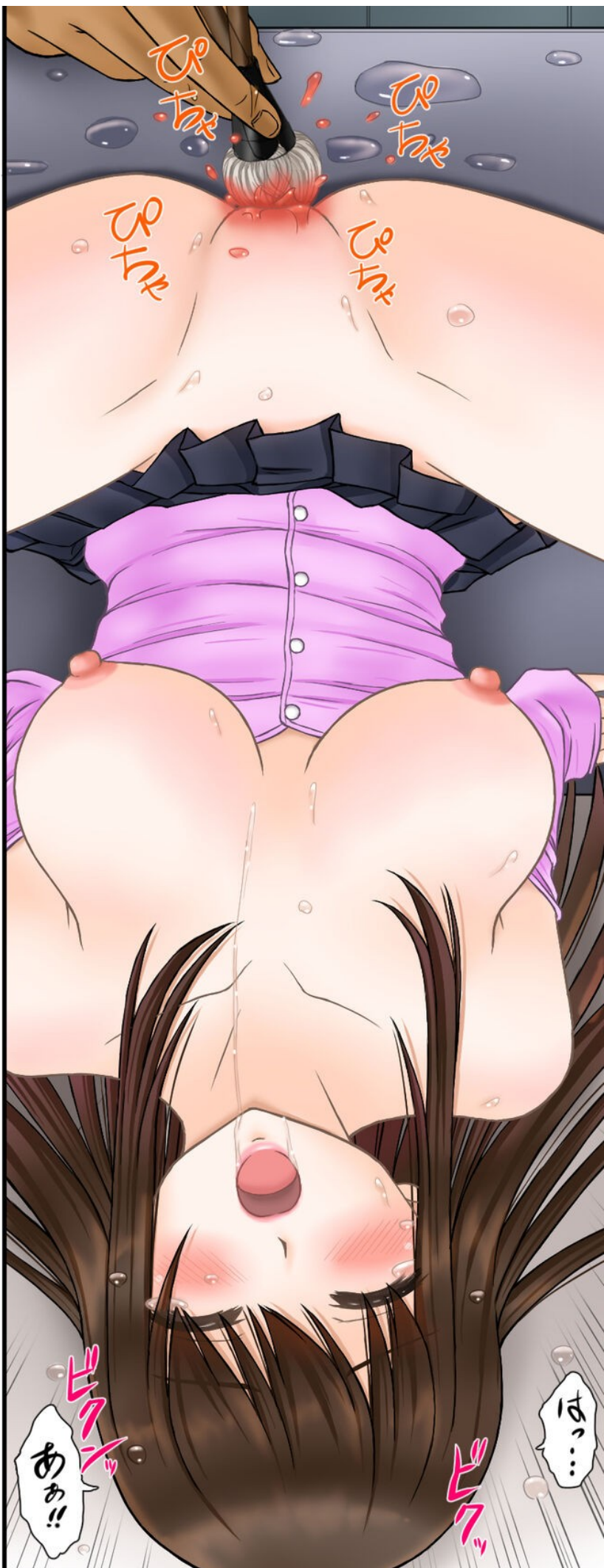
んっ...

魔導警察 **レイナ**

**恥辱**  
の  
**お遣い**

Stage 1-2





もう  
だめえ…

ビクッ

ビクッ

まだ  
ですかあ  
……?

では最後に  
お題をひとつ!

え!?

ビクッ  
ビクッ  
ビクッ

♪

清  
セ…イ…

潔  
ケ…ツ…

感  
カン

先っぽが  
入ってるう…!

ぐりぐり…  
しないでえ…!

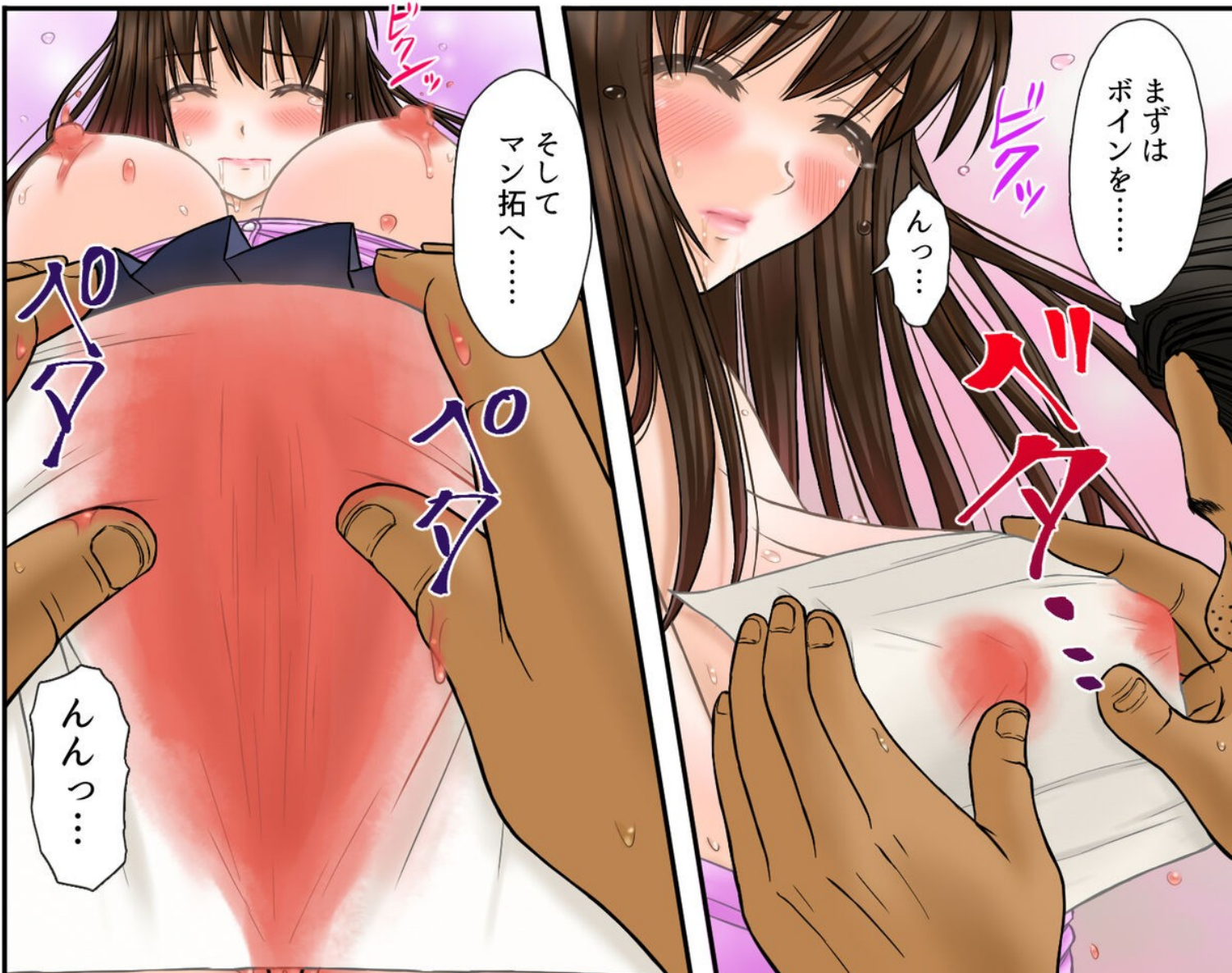
ああっ…

ニル  
ニル  
ニル

ニル

ニル







すばらしい...



確かにレイナさんの  
唯一無二のシルシだ！



よく頑張ったね！  
りっぱなマン拓と  
ポイントがとれたよ！



フフフ……  
いい出来栄えだ……



お願い…  
わたしの…ナカに…  
入れて…!!

なんと!  
自ら入れてと  
おねだりするのは  
真面目そうに見えて  
スケベなんだね!



管理人さん…  
わたし…もう…  
カラダが…アソコが…  
欲しくて…



しかし入れる前に  
オレの火照った肉棒を  
ギンギンに  
してもらおうか?

フフフ…  
いいだろう…

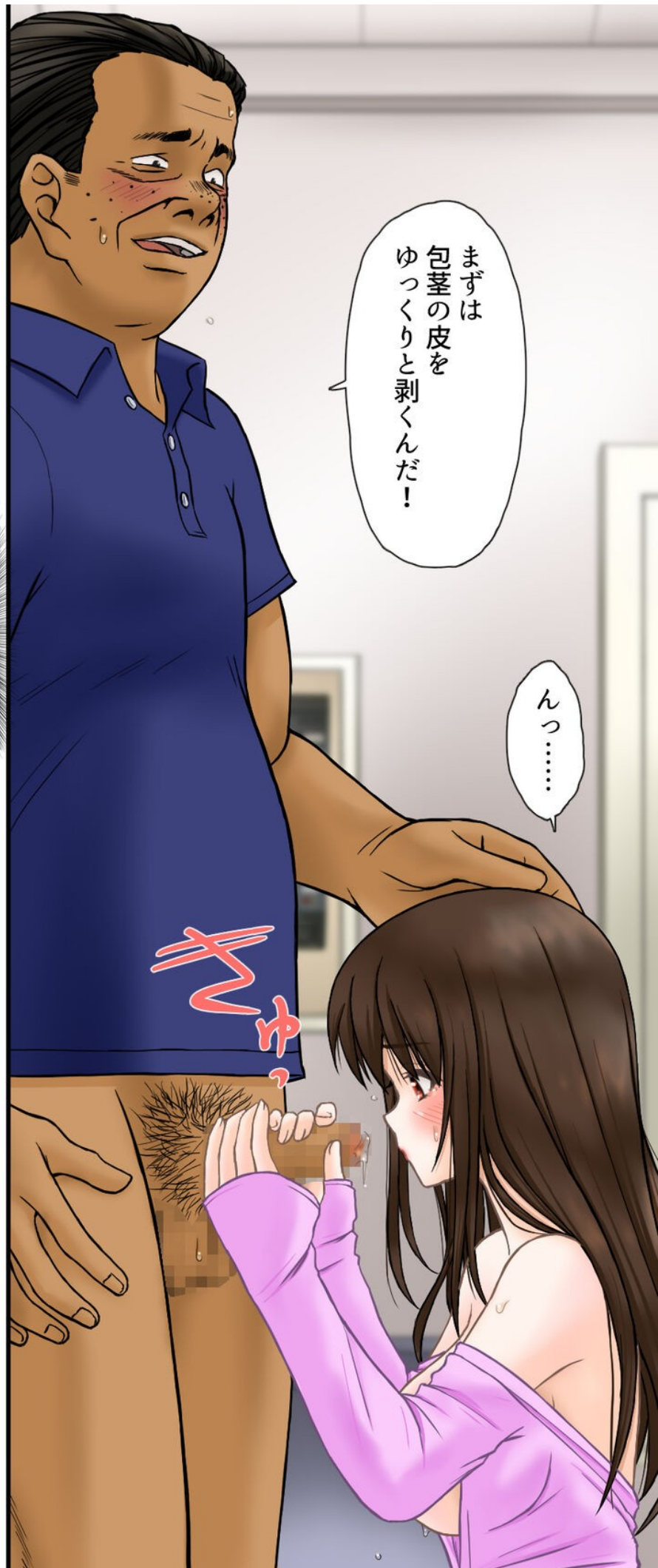


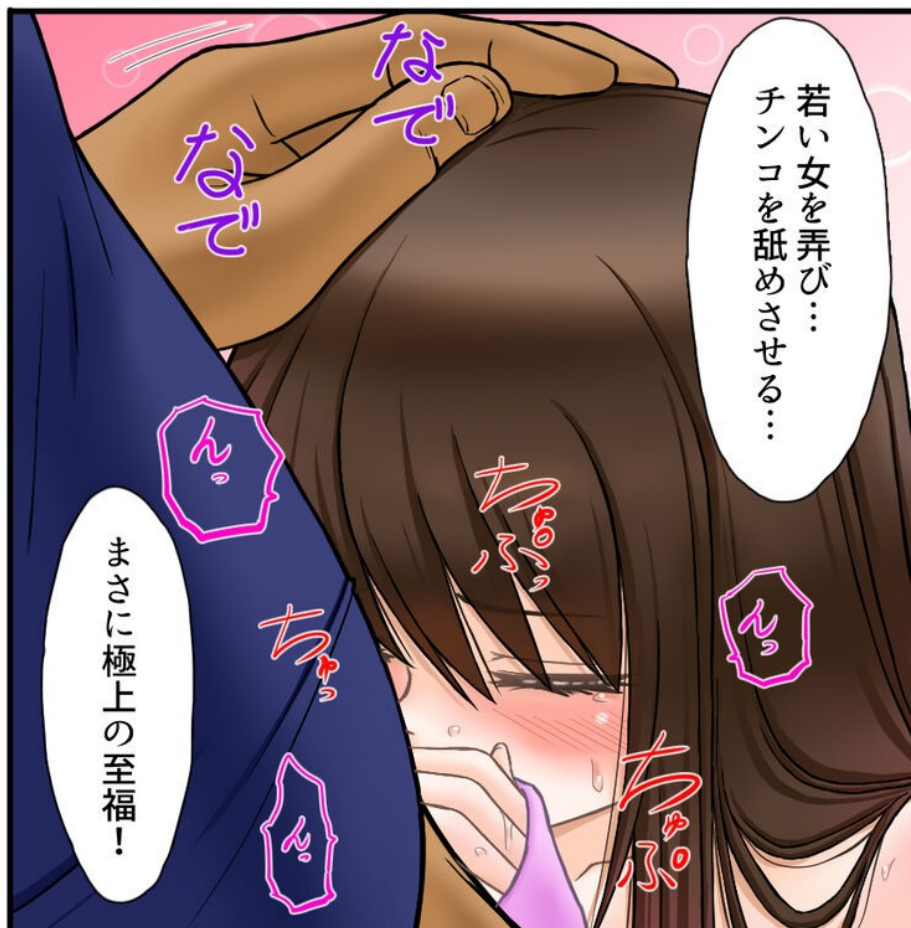
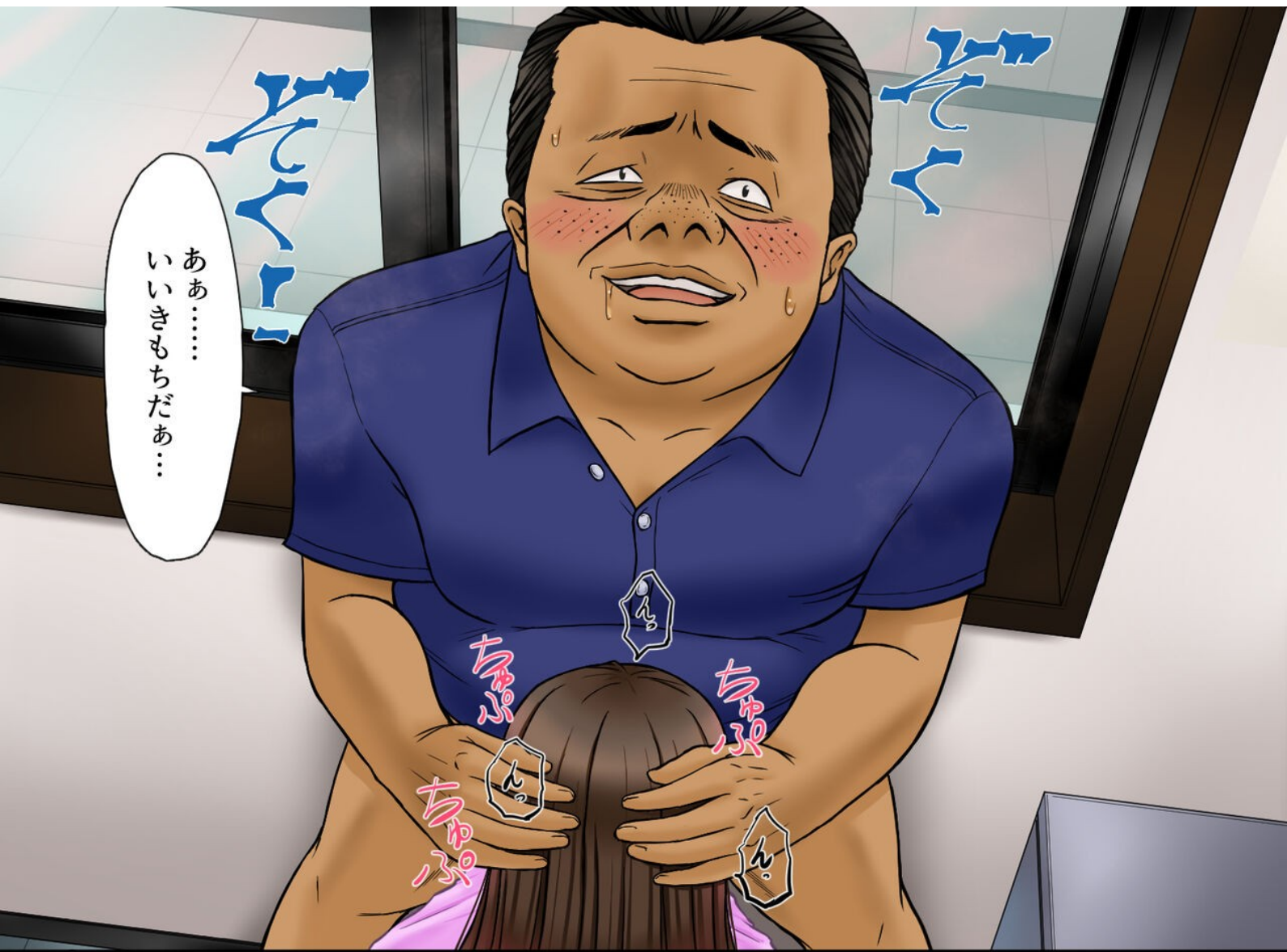
だって…  
わたしのカラダ…  
こんなになんで…

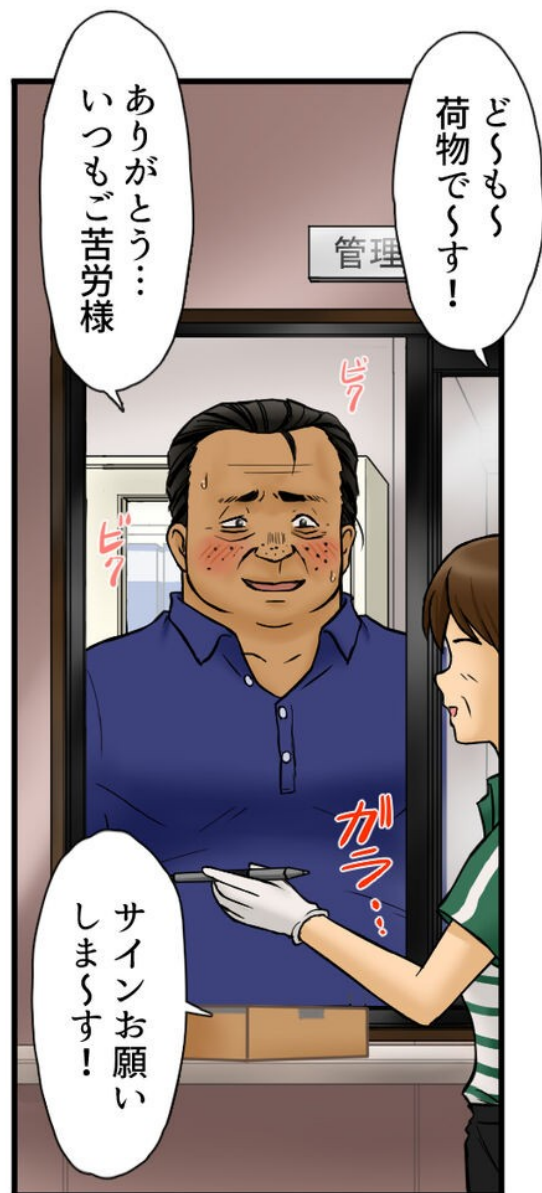
スツキリ  
させて!



ほら…  
美味しそうに  
舐めてごらん!





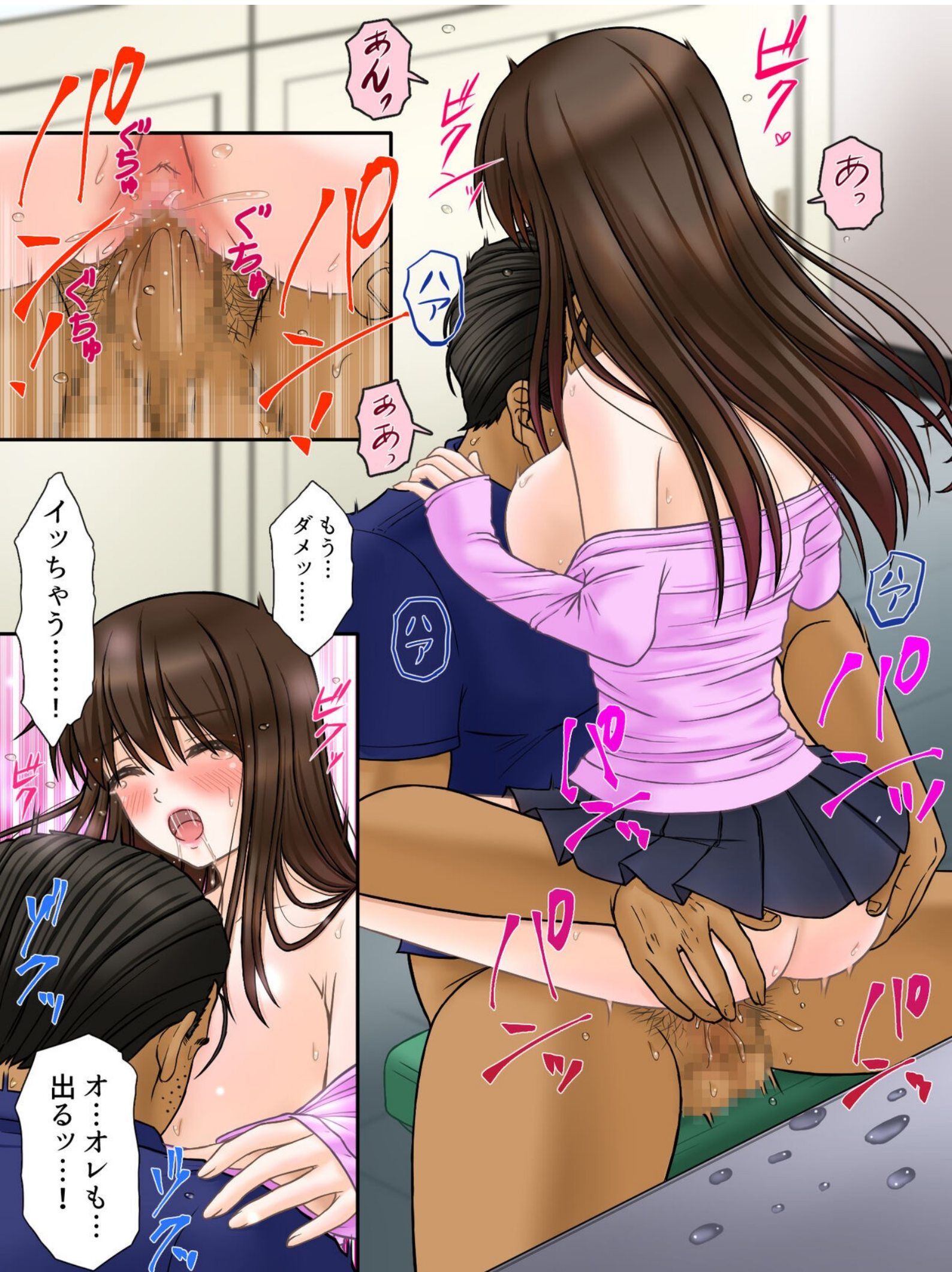












あゝ

ビク

あゝ

ぐちゃぐちゃ

ぐちゃ

ハア

あゝ

もう...  
ダメッ...

イツちゃう.....!!

グッ

オレも...  
出るッ!!

ハア

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ





**データ漏洩防止機能**  
 持ち運びの際は、体内に挿入しなければならない!  
 挿入すると、記憶装置が挿入時の体温を記憶!  
 記憶した体温と誤差が発生した場合、30秒以内に  
 同記憶を再検出しないとデータは消去される!!

**次にバイブ機能**  
 挿入時にバイブ機能をオンにし  
 振動センサーで体内の感触を感知する  
 バイブの振動を止めるとデータは消去される!

**映像データ閲覧方法について**  
 閲覧方法は挿入状態で専用アプリから  
 転送コードを送信し、専用アプリで  
 閲覧することができる(コピー不可)

バ





……えっと……  
つまりどういう……？

要約すると……  
オマンコに  
コイツを挿入し……

バイブ振動した  
状態で持ち帰り……

途中 オマンコから出しては  
いけないということだな……!!



そ……  
そんな……!!

グフフフ……  
さあ どうする？

ここまできて  
断らないよな？



いい返事だ!

スティックは  
オレが入れてやろう!

ちよっ……  
自分でするから……!!



わかりました  
……

もじ

入れて……  
帰ります……



ピクッ

ぬるっ

あ

だめえ...

ピク

ピク

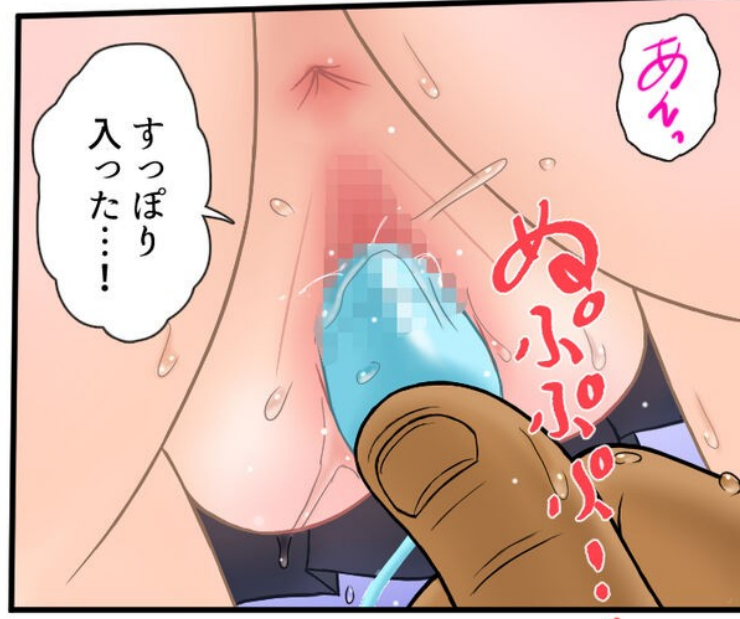
おおっ...  
なんの抵抗もなく  
入っていく...!!



ピク

やだっ...

ピク



あ

すっぽり  
入った...!!

ぬるっ



では！  
振動スイッチ  
オオオオンヌ…！！

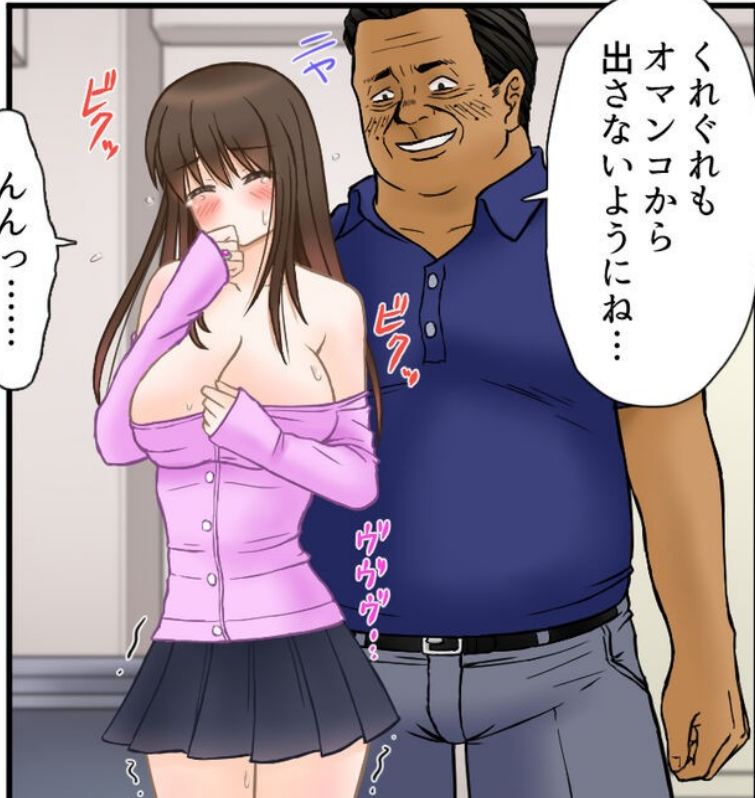
ひゃっ…！！

ビュッ

カチッ

ビュッ

ブルッ



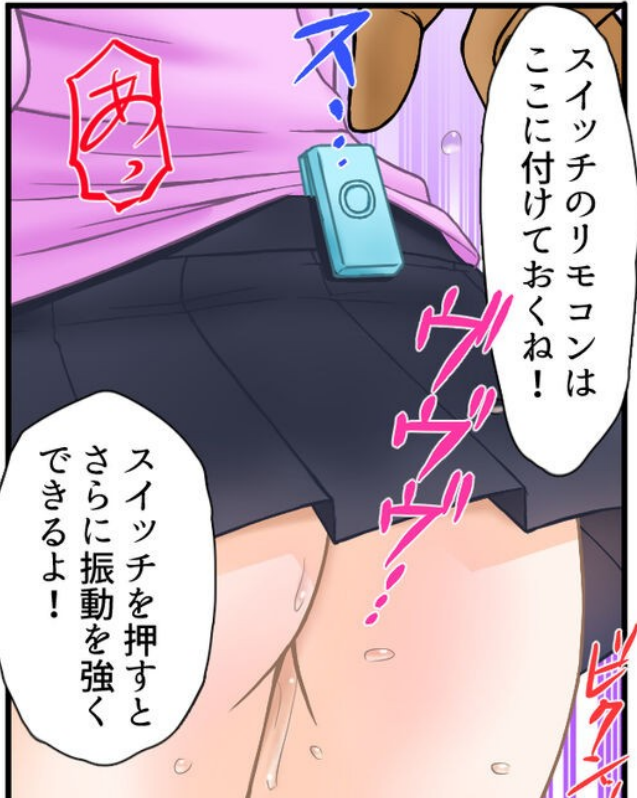
くれぐれも  
オマンコから  
出さないようにね…

んんっ…

ビュッ

ビュ

ビュッ



スイッチのリモコンは  
ここに付けておくね！

スイッチを押すと  
さらに振動を強く  
できるよ！

あ

ビュ

ビュッ

ビュッ



ハハハッ!  
よく似合うよ!

おまもり  
……?

!?



それと この  
お守りをあげよう!

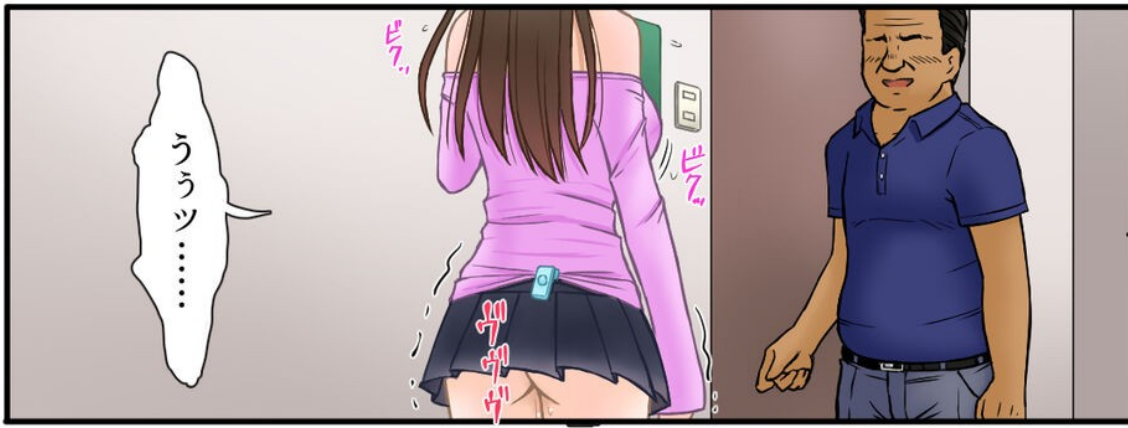
すちや!



え!? そんな……  
下着なしで帰れと  
……!?

データの返却時に  
返してあげるね……

このパンティと  
ブラは預かって  
おくよ……



ううツ……

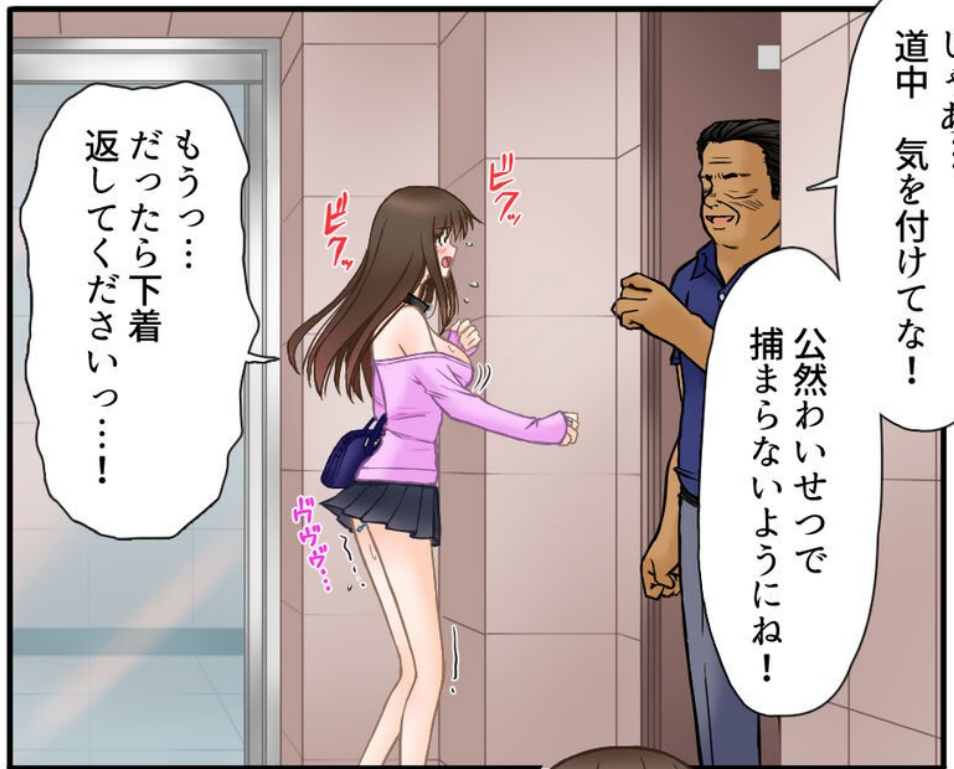
ノーパン ノーブラ  
バイブ挿入で  
野外を出歩くななんて  
サイコーだな!  
おまけに口朮もな!



あっ：  
ちよつと！

やだね！  
じゃあね！

バタンッ



じゃあ：  
道中 気を付けてな！

公然わいせつで  
捕まらないようにね！

もうっ：  
だったら下着  
返してくださいっ…！



こっちも  
気をつけなきゃ！

ブラしてないから  
揺れで はだけそう  
……



んっ…！

……  
振動が……

フル



サークル名 つじもと庵

作者 つじもと じゅんぺい

TwitterID @tujimoto\_junpei



この物語はフィクションであり、  
実在の人物・団体・事件などには一切関係がありません。  
本作品の無断複写・複製・転載行為は禁止です。